

患者さんを一人の人として診るとは

今年 4 月 7 日より下越病院、総合診療科にて一か月間の臨床実習をさせていただきました。内科の外来実習や、病棟での患者さんの診療はじめ、循環器内科での治療にも参加させていただきました。

今回の実習で受け持たせていただいた患者さんの診療を通じて一人の人として患者さんを診るということを考え直すきっかけになりました。日常で当たり前のように言われる言葉ですが実際に人生に終わりが訪れようとするとき、医師として何ができるのか。患者さん、ご家族の意志に沿って提供する医療の形を柔軟に変える必要があると身に染みて感じました。技術の進歩は著しいですが、医療現場で働くうえで常に治る病気ばかりを扱えるわけではありません。

このような貴重な経験ができたのも総合診療医、家庭医の分野でレベルの高い医療を提供されている環境があったからだと思います。各科の先生方はじめコメディカルの方々、事務の方々、まだまだ未熟な自分の実習に理解いただいた地域の方々にも改めて感謝申し上げます。